


放送部、放送委員会、視聴覚委員会等加盟各部、委員会顧問 様

栃木県高等学校文化連盟放送専門部会
(栃木県立真岡女子高等学校長)
部会長 星 尚志

平成31年度栃高文連放送専門部会第41回放送コンテスト 兼
第66回NHK杯全国高校放送コンテスト栃木県予選の開催について

日頃は本部会事業についてご理解をいただきありがとうございます。
さて、標記のことについて、下記のとおり開催いたしますので、奮ってご参加下さいますようお願いいたします。

記

- 1 名 称 平成31年度栃高文連放送専門部会第41回放送コンテスト 兼
第66回NHK杯全国高校放送コンテスト栃木県予選
- 2 主 催 栃木県高等学校文化連盟放送専門部会
宇都宮放送局
- 3 後 援 栃木県高等学校教育研究会視聴覚部会
- 4 目 的 現代に生きる高校生の豊かな人間性の育成と、未来への展望をもつ人間としての成長をめざし、校内放送活動をメディアリテラシーの実践として位置づけ、情報発信としての放送活動の発展をはかる。
- 5 日 時 第1日 令和元年6月11日(火) 8:30~16:30
朗読部門審査、研究発表・ラジオドキュメント部門・テレビドキュメント部門・創作テレビドラマ部門審査、創作ラジオドラマ部門作品提出
第2日 令和元年6月12日(水) 8:30~16:00
アナウンス部門審査、創作ラジオドラマ部門審査
全部門審査結果発表・表彰式、全国大会推薦手続き
- 6 会 場 栃木県子ども総合科学館 (宇都宮市西川田町567)
- 7 参加資格 2019年7月現在、県内高等学校及び中等教育学校の後期課程、特別支援学校の各高等部、高等専門学校(第3年次までの生徒)、専修学校及び各種学校(修業年限が高等学校と一致していること)に在学中の生徒及びその生徒の制作した作品であること。他のコンテスト・コンクール等に参加した作品及びそれを改変・改編した作品の参加は認めない。
参加校の顧問は、コンテストの審査・運営に携わること。
- 8 参加できる数 1名からでも参加できます。(先生の引率が必要です。)
(1) アナウンス・朗読部門は、各部門1校5名まで(1名1部門に限る)。
(2) 研究発表、番組部門(ドキュメント、ドラマ)は各部門複数の参加を認める。
(ただし、全国大会への推薦は各校とも各部門1作品に限る)
- 9 参加要領 別冊の「開催要項」(平成31年度版)及び「校内放送研究」No.178(2019.3)参照
- 10 申し込み **5月24日(金)事務局必着(期限厳守)**
学校単位で教員が申し込み手続きを行う。
参加申込書(Excel形式)を事務局(真岡女子高校)の呉井美保あてに電子メールで送付する。e-mailアドレス kurei-m01@tochigi-edu.ed.jp
番組部門のタイトル(作品名)が決定していない場合は、「未定」と記入する。

送信後、1日以上たっても、参加申込書を受理した旨のメールの返信が無い場合は、事務局へお問い合わせください。

- 1 1 問い合わせ 事務局（県大会の大会運営等）
〒321-4306 真岡市台町2815
栃木県立真岡女子高等学校内 栃高文連放送専門部会事務局
担当：渡辺美千恵(わたなべ みちえ)
TEL 0285-82-2525 FAX 0285-83-6615
E-mail watanabe-m08@tochigi-edu.ed.jp
-
- 大会要項や番組制作に関する質問は、下記までお願いします。
第66回NHK杯全国高校放送コンテスト都道府県担当者
〒329-4407 栃木県栃木市大平町川連370
栃木県立栃木翔南高等学校 坂本一隆（さかもと かずたか）
TEL 0282-24-4739 E-mail sakamoto-k02@tochigi-edu.ed.jp
-
- 1 2 原稿、台本（番組進行表）、作品の提出について
- ・アナウンス、朗読原稿（各8部）は、6月3日（月）午後5時必着で、事務局に送付するか持参する。FAXで送らないでください。宅配便等配達記録の残る形で送付してください。県立学校の先生にお願い 原稿等の提出に、使送は使用しないでください。
 - ・番組進行表（2部）および番組作品（CD-R、DVD-R）は、6月11日（火）9時までに会場受付に持参する。研究発表も台本（番組進行表等）の提出が必要です。創作ラジオドラマ部門の番組進行表と作品の提出も6月11日（火）9時です。
- 1 3 キャンセル、作品名の変更について
- ・参加申込み後のキャンセルは、6月3日（月）までに変更内容を事務局（真岡女子高校 渡辺美千恵）へ、電話とともにFAXまたは電子メールでお願いします。当日になってのキャンセルは受付の混乱や進行の遅れを招きますので、ご協力をお願いします。（6月3日以降及び当日のキャンセルは参加料をいただきます。）
 - ・作品名の変更がある場合は、6月3日（月）までに事務局へ連絡をお願いします。
- 1 4 参加料について
- ・アナウンス部門と朗読部門は1名につき700円、番組部門は1作品（発表）につき1,000円を第1日目（アナウンス部門のみに参加の学校は、第2日目）に会場受付で学校毎にまとめて納入して下さい。おつりの無いようにご協力願います。事務局では、おつり用の小銭は用意いたしません。
- 1 5 表 彰
- (1) 各部門の上位入賞者・優秀作品を表彰します。また、上位入賞者・優秀作品に得点を与え、学校単位に得点を集計して総合成績でも表彰をします。
 - (2) 表彰・得点については「開催要項」（平成31年度版）のとおりです。
- 1 6 注意事項
- (1) 「校内放送研究」No178(2019.3)および一緒に送付した各種資料をよく読んで遺漏のないようにしてください。不明な点は、そのままにせず、事務局の真岡女子高校の渡辺美千恵かNHK杯都道府県担当者の栃木翔南高校の坂本先生までお問い合わせください。
 - (2) 研究発表は、パソコンを用いたプレゼンテーションとなりますので、「校内放送研究」No178(2019.3)の16ページをよく確認して下さい。（なお、OSは、Windows10、パワーポイントのバージョンは2016に変わりました。なお、事務局でこれらのバージョンを用意できない場合は、異なるバージョンで実施することがあります。（販売されている最新バージョンは2019）
 - (3) 県予選における原稿、番組の台本、作品の返却は、いたしません。
 - (4) 番組審査時は、代表生徒または、それに準じた生徒が必ず自校作品の発表に立ち会ってください。
- 1 7 全国大会 総合受付が7月22日（月）、発表が23日（火）～25日（木）に行われます。総合受付は、7月22日（月）のみです。準々決勝の日（23日）の朝に総合受付ができないので注意してください。詳細は、全国大会推薦校に文書をお渡しします。

2019 NHK杯栃木県予選 部門別提出書類・物品一覧表

全部門

✓	提出書類	提出締切日	提出先
	参加申込書 ※締め切り厳守 ※栃高文連放送専門部会の f r e e m l でメール配信された Excel形式のファイルを入力して、メールで事務局あてに送信する。 (真岡女子高校 呉井美保 kurei-m01@tochigi-edu.ed.jp)	5/24(金) 必着	真岡女子高校

アナウンス部門

✓	提出書類	提出締切日	提出先
	原稿 (8部) ※締め切り厳守 遅れた場合は失格になります。 ※NHK杯全国高校放送コンテストで指定の様式を原稿用紙として使用する。(手書き可) 事務局へ提出後は、原稿の変更はできません。	6/3日(月) 午後5時必着	真岡女子高校

朗読部門

✓	提出書類	提出締切日	提出先
	原稿 (8部) ※締め切り厳守 遅れた場合は失格になります。 ※NHK杯全国高校放送コンテストで指定の様式を原稿用紙として使用する。(手書き可) 事務局へ提出後は、原稿の変更はできません。	6/3日(月) 午後5時必着	真岡女子高校

ラジオドキュメント部門・創作ラジオドラマ部門

✓	提出書類・作品	提出締切日	提出先
	番組進行表 (2部) ※NHK杯全国高校放送コンテストで指定の様式を使用する。 PCでデータ入力し、印刷したものを提出する。	6/11日(火) 午前9時	会場受付
	作品 音楽CD形式で作成した CD-R (2枚)		

※創作ラジオドラマ部門のみの参加で第1日目に参加しない場合は、大会前日の6/10(月)午後5時までに事務局へ郵送、または持参する。(事前に事務局に連絡) 6/12(水)に持参は失格

テレビドキュメント部門・創作テレビドラマ部門

✓	提出書類	提出締切日	提出先
	番組進行表 (2部) ※NHK杯全国高校放送コンテストで指定の様式を使用する。 PCでデータ入力し、印刷したものを提出する。	6/11日(火) 午前9時	会場受付
	作品 DVDビデオ形式で作成した DVD-R (2枚)		

研究発表部門

✓	提出書類	提出締切日	提出先
	番組進行表 (2部) ※NHK杯全国高校放送コンテストで指定の様式を使用する。 PCでデータ入力し、印刷したものを提出する。	6/11日(火) 午前9時	会場受付
	パワーポイントスライドの印刷 ※1ページあたり6枚のスライドが表示された「配付資料」をA4縦に片面印刷したものを様式2-2の下に重ねて綴じる。		
	パワーポイント2016で作成した研究発表データ データCD形式で作成した CD-R (2枚)	6/11日(火)	発表時に持参
	発表に使用する音声データ、映像データ ※PCから再生する場合 パワーポイントの中に組み込むこと。 音声・映像が再生されない場合に備えて、windows Media Playerで再生できるデータをUSBメモリーで持参する。 ※CDラジカセを使用する場合(音声) 音楽CD形式で、CD-Rを作成すること ※DVDプレーヤーを使用する場合(映像) DVDビデオ形式で、DVD-Rを作成すること。		

指定の様式は、NHK杯全国高校放送コンテストのホームページからダウンロードして使用してください。http://www.nhk-sc.or.jp/kyoiku/ncon/ncon_h/pdf.html 昨年度の様式は使用できません。

番組部門の作品、研究発表部門のデータについては、「校内放送研究」No.178(2019.3)をよく読んで、規格に間違いがないように注意すること。事務局で用意する機器で再生できない場合は、失格となります。

研究発表で提出するパワーポイントのスライドを印刷した「配付資料」は、会場で見学者に配布するためのものではありません。台本の確認をする際に必要となるものです。

校内放送研究No.178（2019.3）のダウンロードのご案内

NHK杯全国高校放送コンテスト栃木県予選に参加する学校は、NHK杯全国高校放送コンテストのホームページから要項等をダウンロードしてください。通信費節約のため各校へ「校内放送研究No.178（2019.3）」を冊子での配布はしておりません。ご了承下さい。5月20日（月）に真岡女子高校で行われる放送専門部会総会にて配布します。

校内放送研究No.178（2019.3）

「第66回NHK杯全国高校放送コンテストならびに校内放送活動研究集会要項」
アナウンス部門と朗読部門の原稿用紙、ラジオ番組とテレビ番組、研究発表部門の番組進行表用紙等、テレビ番組のカラーバー（テストパターン）は、次のアドレスからダウンロードしてください。

NHK杯全国高校放送コンテストのホームページ

http://www.nhk-sc.or.jp/kyoiku/ncon/ncon_h/pdf.html

不明な点は、そのままにせず、第66回NHK杯全国高校放送コンテスト都道府県担当者の栃木県立栃木翔南高等学校 坂本一隆（さかもと かずたか）先生まで、お問い合わせください。

生徒さんが直接学校に電話してくるがありますが、お電話は、顧問の先生を通してお願いいたします。説明が難しい場合は、途中で生徒さんに変わっていただいても構いません。

栃木翔南高等学校 TEL 0282-24-4739
E-mail sakamoto-k02@tochigi-edu.ed.jp

平成31年度栃高文連放送専門部会第41回放送コンテスト
兼
第66回NHK杯全国高校放送コンテスト栃木県予選

開 催 要 項

(平成31年度版)



栃高文連放送専門部会事務局
栃木県立真岡女子高等学校内
〒321-4306 真岡市台町2815
TEL 0285-82-2525
FAX 0285-83-6615
担当 渡辺 美千恵 (わたなべ みちえ)
E-mail watanabe-m08@tochigi-edu.ed.jp

NHK杯全国大会への推薦予定数

アナウンス部門		6名
朗読部門		6名
番組部門	ラジオドキュメント部門	4作品
	テレビドキュメント部門	4作品
	創作ラジオドラマ部門	2作品
	創作テレビドラマ部門	2作品
研究発表		2発表

※ アナウンス・朗読部門は、1名1部門とする。

※ 番組は、1部門に、1校1作品とする。

放送コンテスト県大会要項

1. コンテストの各部門

- (1) アナウンス (2) 朗読 (3) 研究発表 (4) ラジオドキュメント
(5) テレビドキュメント (6) 創作ラジオドラマ (7) 創作テレビドラマ

2. 審査員

- (1) 専門職審査員（NHKアナウンス担当職員および番組担当職員あるいは、アナウンス、番組制作を職業とする者。または、これに準じる者）。
(2) 栃高文連放送専門部会役員（主にコンテスト委員）。
(3) 各高校の放送部顧問。
(4) 栃高文連放送部会の推薦する者。

3. 表彰

(1) 部門賞

	アナウンス 朗 読	研究発表	ラジオドキュメント テレビドキュメント	創作ラジオドラマ 創作テレビドラマ
最優秀賞	※1	※1	※1	※1
優 秀 賞	5	1	3	1
優 良 賞	3	1	2	1

上記表の部門賞には賞状を与え表彰する。また、※ にはトロフィーを同時に与える。
トロフィーに貼るプレートは、後日事務局より受賞各校へ送付する。

トロフィーは、最優秀賞だけになります。

(2) 学校賞

審査規定により各部門の順位を決定し、それぞれの部門の順位点を合計したものを、各学校の得点とする。得点の高い上位3校を表彰する。

優 勝：賞状及び優勝カップ（持ち回り）を与える。次年度にレプリカ（楯）を贈呈する。
準優勝：賞状及び準優勝カップ（持ち回り）を与える。次年度にレプリカ（楯）を贈呈する。
第3位：賞状を与える。

4. 日程

第1日 令和元年6月11日（火） 8:50 ～ 16:30
朗読部門審査
研究発表・ラジオドキュメント・テレビドキュメント・創作テレビドラマ部門審査
創作ラジオドラマ部門作品・番組進行表提出（6/12（水）に持参した場合は失格）
第2日 令和元年6月12日（水） 8:50 ～ 16:00
アナウンス審査・第1日目の結果発表
創作ラジオドラマ部門審査
全部門審査結果発表・全部門表彰式

5. 参加資格

2019年7月現在、県内高等学校及び中等教育学校の後期課程、特別支援学校の各高等部、高等専門学校（第3年次までの生徒）、専修学校及び各種学校（修業年限が高等学校と一致していること）に在学中の生徒及びその生徒の制作した作品であること。他のコンテスト・コンクール等に参加した作品及びそれを改変した作品の参加は認めない。

参加校の顧問は、コンテストの審査・運営に携わること。

6. 参加申込み（エントリー）

(1) **アナウンス部門・朗読部門は、各部門1校5名まで**（1名1部門に限る）。

※同じ生徒がアナウンスと朗読の両方に出場することはできません。

ただし、(2)の部門（研究発表、番組部門）の参加は認めます。朗読部門に出場する生徒は番組の発表、研究発表と審査が重なる場合があります。注意してください。

(2) 研究発表、ラジオドキュメント、テレビドキュメント、創作ラジオドラマ、創作テレビドラマ部門は各部門とも複数の参加を認める。

ただし、全国大会への推薦は各校とも各部門1作品に限る。

※研究発表をおこなう生徒は、朗読の発表と重ならないようにすること。

番組審査時は、代表生徒または、それに準じた生徒が必ず自校作品の発表に立ち会うこと。

7. 参加費

(1) アナウンス・朗読部門は1名につき700円。

(2) ドキュメント・創作ドラマ部門および研究発表は1作品につき1,000円。

第1日目に会場受付で学校毎に2日分をまとめて納入して下さい。1日目に参加しない学校（アナウンス部門のみに参加）は第2日目に納入して下さい。なお、6月3日（月）以降及び当日のキャンセルは参加料をいただきます。

事務局では、釣り銭用の小銭は用意しておりません。おつりのないようにご協力ください。

8. 決勝進出等について

(1) アナウンス、朗読の決勝進出者について

決勝進出者は予選順位の上位15名とする。

ただし、15位が複数の場合は15名を超えて15位まで全員

(2) アナウンス、朗読の決勝について

ア. 決勝進出者発表終了後、その会場で課題原稿（事務局で用意）を配布する。

イ. アナウンス部門の決勝は、自分の原稿（番号・氏名を含む）と課題原稿（決勝進出決定時に配布する指定原稿の中から1つ選ぶ）を続けて読む。

なお、時間は特に指定しないが、適度な速さで読む。

ウ. 朗読部門の決勝は、自分の原稿（番号・氏名を含む）と課題原稿（決勝進出決定時に配布する指定原稿の中から1つ選ぶ）を続けて読む。

決勝進出決定時に配布する指定原稿については、作品、作者名は読まない。

なお、時間は特に指定しないが、適度な速さで読む。

(3) 研究発表、ドキュメント、創作ドラマについては、予選を行わない。

放送コンテスト県大会規定ならびに学校賞得点基準

1. 放送コンテスト県大会規定

「校内放送研究」No.178(2019.3)の内容に準じる。

注意点：各部門の「時間」一覧

アナウンス部門	1分10秒以上1分30秒以内
朗読部門	1分30秒以上2分以内
ラジオドキュメント部門	6分30秒以上7分以内
テレビドキュメント部門	7分30秒以上8分以内
創作ラジオドラマ部門	8分以内
創作テレビドラマ部門	8分以内
研究発表	8分以内

※ 規定時間違反は失格となります。

研究発表部門は、減点

2. 学校賞に係る各部門の順位得点について

(1) 各部門の各順位の得点は、下記の順位得点表による。

① 参加者(作品)全員に参加点を与える。

② 上位の者(作品)には、参加点+各順位の点数を与える。

(2) 同点の場合は、学校賞の得点集計においては同順位として扱う。

審査の規定の1.(3)のウまでの順位で得点を与える。

<各部門の順位得点表>

アナウンス・朗読部門

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7～9位	10位～決勝進出	参加点
得点	9	8	7	6	5	4	3	2	1

研究発表部門

順位	1位	2位	3位						参加点
得点	8	7	6						2

ラジオドキュメント・テレビドキュメント部門

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位			参加点
得点	8	7	6	5	4	3			2

創作ラジオドラマ・創作テレビドラマ部門

順位	1位	2位	3位						参加点
得点	8	7	6						2

放送コンテスト県大会審査の規定ならびに審査基準および様式

1. アナウンス・朗読予選・決勝審査規定

(1) 審査員は7名とする。

ア 専門職審査員（1名）

イ コンテスト委員（6名）

ただし、専門職審査員の都合がつかない場合は、コンテスト委員6名で審査を行う。また、各学校の放送部顧問は、コンテスト委員と同様に審査を担当することができる。また、上記審査員以外に計時係を一人置く。足りない場合は審査員の一人が兼ねる。

(2) アナウンス、朗読は、予選を行いそれぞれ上位15位までを決勝進出者として、決勝を行う。

(3) 予選の順位決定

ア 専門職審査員の与えた点をAとする。

イ コンテスト委員6名が与えた点のうち、最高点と最低点をカットした4名分の得点をBとする。

ウ A+Bの得点が高い順に順位を決定する。

エ 合計点が等しい時は次の順序で決定していく。

① 専門職の得点高い方

② カットされた得点のうち、最高点が高い方

③ カットされた得点のうち、最低点が高い方

④ カットされない得点の中の最高点が高い方

⑤ 利害関係のない審査員（当該校の顧問が審査員の場合は外し、残りの審査員）による決選投票をおこない多数決で決める。

⑥ ⑤までで同点の場合は、審査員全員で協議し次年度からその方法を⑥として規定に加える。

(4) 決勝の順位決定

決勝は、予選の得点を参考としない。また、審査員が与える得点は、60点を最低点とする。

その他は、予選の順位決定と同じ方法で決定する。

2. 研究発表・ドキュメント・創作ドラマ部門審査規定

上記各部門は、予選を行わず1回の審査で順位を決定する。

審査員の構成や順位の決定は、1.の部門と同じとする。

3. 放送コンテスト県大会の審査基準

「校内放送研究」No.178(2019.3)の6、7、8、10、12、14ページの内容に準じる。ただし、研究発表は、コンテスト形式の最後が1999年なので、No.116(1999.7)に準じる。

4. 放送コンテスト県大会の様式

「校内放送研究」No.178(2019.3)の内容に準じる。

必ず、今年度の様式をコンテストのホームページからダウンロードして下さい。

http://www.nhk-sc.or.jp/kyoiku/ncon/ncon_h/pdf.html

昨年度ダウンロードした様式は使用しない。

昨年度の様式を使用した場合は、減点対象となる。

NHK
for
School

研究発表部門の審査基準 (No.116 (1999.7)) の写し+県大会での運用

1. 発表時間について

- ① 研究発表の持ち時間は8分以内とする。
- ② 計時スタートは、発表者の第一声からとする。
(全国大会においては機材の調整時間も含めて、8分以内となっているので注意すること。)
- ③ 計時終了は、発表者の発表終了の時点。
※発表終了がわかるような発表にしてください。(ご清聴ありがとうございました。)
- ④ 発表開始8分後に、第1鈴(卓上ベル)。さらに30秒後に第2鈴。
※県予選においては事務局でベルが用意できないので、④の時間超過のお知らせはしません。
発表者は、時間オーバーにならないように練習してきてください。減点はします。
- ⑤ 8分以後、超過30秒ごとに満点の5%ずつ減点。
(8分を超えた場合、8分30秒までは、5点減点、9分までは、さらに5点減点)
- ⑥ 9分以上の発表は直ちに中止。
※9分を過ぎた段階で、進行担当者から発表中止の命令を出します。(失格ではありません。)

<県予選のみの規定>

準備は前の発表者終了後の撤去を入れて2分以内。

審査開始前にPC担当生徒にPCの操作説明をおこないます。(リハーサルではありません。)

2. 審査の視点と配点

点数は100点法

ア. テーマ点 (30点)

- | | |
|----------------------|---------------|
| a テーマをよくとらえ見事に表現している | b テーマにふさわしい |
| c テーマにふさわしいが今一步 | d テーマがややずれている |
| e テーマにふさわしくない | |

イ. 実践や取り組みの程度 (40点)

- | | | |
|------------|------------|----------|
| a 特にすぐれている | b すぐれている | c ふつうである |
| d やや劣る | e はなはだしく劣る | |

ウ. 発表の技術 (30点)

- | | | |
|------------|------------|----------|
| a 特にすぐれている | b すぐれている | c ふつうである |
| d やや劣る | e はなはだしく劣る | |

研究発表部門における注意事項とお願い

- ・「校内放送研究」No.178 (2019.3)の16ページにある使用できるソフトのバージョンと制作校のバージョンが異なると、特にパワーポイントにおいては、スライドが意図したとおりに動作しない場合があります。また、事務局で「校内放送研究」No.178 (2019.3)の16ページにあるバージョンのソフト (Windows10、PowerPoint2016) を用意できない場合は、参加校にPCを持参していただく場合もあります。その際には事前に事務局から参加校に連絡し、参加校のうちの1校からPCを借り、参加校すべてで使用します。
 - ・PCを購入した時の状態でインストールされていないアドインソフトなどは、インストールされていないために使用できない場合があります。持参したデータが正常に使用できない場合も事務局では責任を持ちません。また、事務局で用意したPCにアドインソフトがインストールされていないことによる、自校PCの使用は認められませんので注意してください。映像データを特殊な方法で圧縮したり、再生しようとするPCによる互換性が著しく落ちますので注意してください。
 - ・参加校には、県予選で事前に使用する機器の確認をいたします。電子メールでご連絡ください。
PC以外で事務局で用意する機材
- | | |
|--------------------------|-------------------|
| ① 使用するマイクの本数 (1本か 2本か) | ② CDラジカセの使用の有無 |
| ③ DVDプレーヤーの使用の有無 | ④ レーザーポインターの使用の有無 |
| ⑤ PCから音声を出力するか。 | |
- ※ 県予選においては、電気スタンドは用意いたしません。

研究発表使用機材について

6月11日（火）の栃木県予選にて使用する機材の確認を致します。

準備の都合上、使用機材の確認を別紙にて、

6月3日（月）までに電子メールにて真岡女子高校の渡辺美千恵までお知らせいただけますようお願いいたします。

使用できる機材については、校内放送研究 No.178 16ページをよくご確認ください。

- 使用できるマイクについては、県予選では、有線マイクのみです。使用する本数をお知らせください。使用しない場合は、0本と記入
- PCから音声を再生する場合は、必ずお知らせください。
- 電気スタンドについては、県予選では必要性がないことから用意しません。会場を真っ暗にすることができないため、使用する必要がないと判断しています。
- 事務局で、指定のバージョンのOS、ソフトを用意できない場合は、参加各校にPCの借用をお願いすることがあります。また、異なるバージョンのOS、ソフトウェアを使用して大会を実施する場合があります。
- 参加各校が自校のPCを使用して発表することは認められません。

注意

- パワーポイントに特殊な圧縮方法を使用したビデオデータや音声データを使用した場合、再生できないことがあります。（再生できません。）
購入したばかりの新品のPCで再生できないデータは、再生できないと考えてください。
再生させるために審査で使用するPCに、コーデック等をインストールすることはできません。
- パワーポイントに組み込んだ音声や映像が再生されない場合に備えて、windows Media Player で再生できるデータをUSBメモリーで持参してください。
- パソコンの画面とDVDプレーヤーの画面を同時に表示することはできません。使用するプロジェクターは1台です。また、審査に使用するDVDプレーヤーには、液晶画面は付いていません。

NHK杯全国高校放送コンテスト栃木県予選 研究発表使用機材について

6月3日（月）までに、真岡女子高 渡辺美千恵 watanabe-m08@tochigi-edu.ed.jpへ

送信者	_____学校 氏名 _____
-----	---------------------

マイクの使用本数 _____ 本

↓ 使用する機材に ○ をつける。	
	PC (OS:Windows10 1台)
	PCからの音声出力 → 有 ・ 無
	CDラジカセ (1台)
	DVDプレーヤー (1台)
	レーザーポインター (1個)

その他の連絡事項

栃木県子ども総合科学館でのお願い

この施設は、無料でお借りしています。
お金を払って見に来ている人の迷惑にならないようお願いいたします。

先生方へ

- (1) **先生方の駐車場は、第2駐車場**をお願いいたします。
子ども科学館建物近くへの駐車はご遠慮ください。
9時前から駐車している車は、コンテスト関係者だけなので、わかってしまいます。
- (2) 敷地内禁煙です。おタバコは、ご遠慮ください。

生徒のみなさんへ

- (1) ゴミは持ち帰る。
- (2) 自転車は、駐輪場を使用する。
- (3) コンテストで使用している会場以外には立ち入らない。
入場料を払えば、展示を見ることができます。
- (4) 会場の電源を使用しない。
- (5) 教員、科学館職員の指示に従う。
- (6) **ホール前のソファは使用禁止です。**一般の入館者に席を譲って下さい。
ソファで寝ている生徒を見かけることがあります。ご注意ください。
- (7) 発声練習は、一般来場者の迷惑にならない場所で行います。

※コンテストは、一般の方に対して原則非公開で実施しています。保護者の見学はできません。